

第32回都留市体育祭り

七月十五・十六日の二日間を中心、都留市体育祭りが市内九地区体育振興会対抗により、住吉球場ほか各会場で行われました。

十五日の開会式は、各地区的体育振興会役員・選手など約五〇〇名の参加を得て盛大に行われ、オーブニングセレモニーにおいては都留フォーカダンスサークル・都留市毛槍おどり保存会・都留市連合婦人会の三団体による演舞が行われ、大会に華を添えました。



地区的名前をかけ、約二〇〇名の選手が十四種目十九種別に熱戦を繰り広げた結果、東桂地区体育振興会が五年連続の優勝を成し遂げました。

名の選手が十四種目十九種別に熱戦を繰り広げた結果、東桂地区体育振興会が五年連続の優勝を成し遂げました。また、永年にわたり都留市体育協会の会長を勤めた志村孝一氏に特別感謝状が贈呈されました。

大会の結果、並びに受賞者は次のとおりです。

男女総合

優 勝	東桂地区体育振興会
準優勝	禾生地区体育振興会
第三位	上谷地区体育振興会

男子総合

優 勝	東桂地区体育振興会
準優勝	禾生地区体育振興会
第三位	上谷地区体育振興会

女子総合

優 勝	禾生地区体育振興会
準優勝	東桂地区体育振興会
第三位	盛里地区体育振興会



炬火台に点火



▶体育祭り大会旗入場
志村 孝一氏



都留V.M.C.サッカースポーツ少年団 関東大会に出場



第二十四回関東少年サッカー大会が八月五日・六日に埼玉県浦和市で開催され、山梨県大会を勝ち抜いた都留V.M.C.サッカースポーツ少年団が出場しました。

大会初日は、もう一歩及ばず上位グループへの進出はなりませんでした。大会二日目は、神奈川県代表の南大野サッカースポーツ少年団と対戦し、PK戦までもつれ込みましたが、惜しくも敗退しました。

都留V.M.C.サッカースポーツ少年団にとって、全試合とも先制点を取りながらも、力及ばず逆転されるという結果になりましたが、各選手の健闘が光りました。今後の活躍が期待されます。

都留V.M.C.サッカースポーツ少年団にとって、全試合とも先制点を取りながらも、力及ばず逆転されるという結果になりましたが、各選手の健闘が光りました。今後の活躍が期待されます。

都留市体育功劳者賞受賞者
(敬称略)

坂島睦世(ゲートボール協会)
小林 達(体育協会事務局)
矢嶋一子(ソフトボール協会)
奥脇光弘(下谷体育振興会)
渡辺一由(東桂体育振興会)
酒井重昌(野球連盟)
伊藤波江(バレー・ボール協会)
龜田 勝(三吉体育振興会)
程原健次(陸上競技協会)
臼井 久(レクリエーション協会)



都留スプレット・ウイングスバレー・ボール
スポーツ少年団(女子) 関東大会に出場

